

教師を対象としたトレーニングプログラム「Yes4Future」について

「Yes4Future」プログラムとは

「Yes4Future」は、未来の希望であるヘブロンの子どもたちと日常的に直接関わりをもつ学校教師やソーシャルワーカーを対象とした能力強化プログラムです。

この事業はピースビルダーズ（*2）がイエス・シアター（*1）とパートナーシップを結び実施されます。このプログラムでは、教師やソーシャルワーカーを対象にした一連のワークショップを開催します。これらのワークショップは、子どもや若者が心理的ストレスに対して自由にそれぞれの感情を表現する助けとなる方法を、参加者が実際に体験しながら習得してもらうことを目的とします。

具体的には、ワークショップを通じて、演劇的な方法を用いた心理ケアの手法、ドラマ・セラピーの知識と技術の習得を目指します。

ワークショップでは、ゲームやエクササイズを通して自己表現やドラマ・セラピーについて学ぶとともに、子どものケアや子どもの権利についてのレクチャーも受けることが出来ます。イエス・シアターの専門スタッフが、これまで子供たちとプログラムに取り組んだ経験を活かして、ワークショップや実践的な提案を行います。ワークショップ修了後は、参加者がそれぞれの現場で学んだことを活用していくことが期待されます。

また、プログラム修了時、参加者には受講時間を明記した、ピースビルダーズとイエス・シアターが発行する修了証書が授与されます。

（*1）イエス・シアター

イエス・シアターは2008年に設立されたパレスチナのNGOです。演劇やドラマは子どもや若者が自分たちの社会の状況を創造的に変えていくうえでポジティブな影響をもたらす、という考えのもと、ヘブロンを中心としたパレスチナの子どもや若者が日常生活における数々の困難に対して創造的かつ積極的に向き合っていく力を引き出す活動に取り組んでいます。

パレスチナ内外でのパフォーマンスを通して、イエス・シアターはパレスチナ社会における問題に光を当てています。イエス・シアターの主な取り組みは、パレスチナ社会に関する問題を特に取り上げたアート・パフォーマンス、ドラマ・ワークショップ、演劇活動、演劇的手法を用いた教師対象の能力強化事業、文化交流の活動をツールとしています。イエス・シアターのほとんどの活動がパレスチナ教育省や UNRWA（国連パレスチナ難民救済事業機関）の協力のもとで行われています。それらの催しには、毎年、1,3000 人もの学生や何百人に上る一般聴衆が訪れています。

イエス・シアターの主要プログラムとしては、Plays4Kids（演劇上演を通じたディスカッションの場）、Kids4Kids（子供を対象にしたドラマ活動）、Yes4Youth（若者を対象にした

ワークショップ) があります。そして今回、これらに加えて Yes4Future がスタートしました。

(*2) ピースビルダーズ

ピースビルダーズは平和構築に携わる人々を支援する日本の非営利団体です。1945年の原爆投下で壊滅的な被害を受けた広島市において、2005年に設立されました。

広島の復興の過程を分析するなかで、ピースビルダーズは、平和について語ることだけでは平和を実現するには不十分であると考えました。つまり、全人類の永遠の夢である平和と安定の実現には、調査・計画・具体的な活動の実行といった一連の実践的なアプローチが必要であると考えたのです。このような経験から、ピースビルダーズは、日本に加えエルワンダ、シエラレオネ、コソボといった戦争で傷ついた国々の人々と共に、コミュニティベースの平和構築の活動を行ってきました。その活動範囲は、国際交流事業、コミュニティ能力強化のためのコンテンツ開発事業（紛争後国支援事業）、人材育成事業、フェアトレード事業など多岐に渡ります。

ピースビルダーズは、学術研究を、地域レベルあるいは世界レベルでの現場のニーズと実際に結びつけることによって活用することに寄与してきました。これらの活動に加え、イエス・シアターとの協力のもと新たに取り組み始めたのが今回の「Yes4Future」です。これはピースビルダーズにとって初めてのパレスチナでの事業です。